



大型連休も終わり、校庭の木々の緑と夏空を思わせるような真っ青な空を見るたびに、運動会に向けて練習に励んでいる元気な子供たちの姿を思い浮かべます。そのような思いで今の状況を考えると、改めて新型コロナウイルス感染症に対する脅威とともに、一日も早い感染症の収束に向けて、今は、「私たち一人一人ができる取組を着実にやっていくことが大切な時」であることを強く感じます。

さて、先日の課題配付では、御多用の中、来校いただきありがとうございました。保護者の皆様の御協力に感謝申し上げます。連日、報道等では「児童生徒の学習」について、動画による学習やオンライン授業（双方向）を実施している学校の様子が紹介されています。本校も含め市川市内の小中学校では、児童生徒の発達段階及び市内のインターネット環境等、様々な条件を考慮し、学年ごとに日課表を作成し、デジタルコンテンツ（自作も含む）を活用しながら、教科書や学習プリントを教材とした家庭学習を進めておりますので、御理解いただきますようお願いいたします。なお、今後の課題及び配付方法につきましては、緊急事態宣言解除等の動向を踏まえながら検討しております。決まりましたらスキットメールで御連絡いたします。

学校再開に向けて（特別の教科 道徳）

連日、緊急事態宣言解除に向けた国や各自治体の動きが報道される中、医療従事者や国民の生活にかかわる業務に携わる方々の様子も映像で伝わってきます。その中には、残念ながら新型コロナウイルスによる「差別」「偏見」とも思われる出来事も紹介され、その様子を知るたびに心が痛みます。

実は、道徳の教科化の背景には、深刻ないじめの本質的な問題に向き合うということも含まれています。そのために、「学習を通して考えること、感じること、行動することで得られるよさ【道徳的価値】」に迫るための読み物資料を活用した学習や、道徳的価値に関する問題を話し合いながら順序だてて考える学習など、様々な学習の流れを取り入れた授業を行うことが求められています。

例えば、教材で「運動会の種目でペアを決めようとした時、Aさんは一番になりたい気持ちから『Bさんと組むのはいや』と言ってしまった。」という読み物があります。あくまでも教材ですが、社会生活の中では実際にあることです。授業では、この問題場面について「自分だったらどうするか」と子供たちが自分自身に問う中で、異なる意見を持つ友だちと議論し合うことを通して、道徳的価値をいろいろな視点で考えていく学習をします。このような授業は、いじめに通じる事態を起ささない、許さない、見逃さないための学習ですが、子供たちが成長し、社会の一員としてよりよく生きていくための道徳性を育てることにもつながります。



本校では、いじめ問題の防止、早期発見、早期解決に向けて「学校いじめ防止基本方針（HPを御覧ください）」のもと、全教職員で取り組んでいます。また、様々な学校行事や生活指導も含め、学校における全ての教育活動を通して、本校の研究（道徳）で得た成果を生かしながら道徳性を育む教育を進めてまいります。

今、このような状況だからこそ、日課表にかかわらず、道徳の教科書やデジタルコンテンツ、あるいは報道からの情報を一緒に御覧になりながら、ぜひ、御家族みんなで、「よさ」について話し合ってみてください。プリント学習よりも学びの多い家庭学習（道徳）の一コマとなります。

【お知らせ】

次頁以降、「心のケアのリーフレット（千葉県教育委員会）」を掲載いたしました。御覧いただき、必要に応じて御活用ください。

きゅうこうちゅう
～休校中のみなさんへ～

しんがた かんせん ぼうし がっこう きゅうこう いじょう
新型コロナウイルスの感染の防止のため、学校が休校になって2か月以上
けいか けいこうさいかい つぎ こころ
経過しました。みなさんは、毎日どのように過ごしていますか？
学校再開まで、次のことを心がけてみましょう。

じょうぶ からだ つく
＜丈夫な体を作ろう＞

で ばしょ かぎ いえ す おお おな しせい
出かける場所が限られているので、家の中で過ごすことが多くなりました。同じ姿勢で
じっとしていると、肩が凝ったり、足がしびれたりすることがあります。また、イライラ
したり、ソワソワしたり、やる気が失せたりすることもあります。

からだじゅう しんせん くうき じぶん からだ うご
そこで・体中に新鮮な空気を取りこむために、自分で体を動かし
たり、窓を開けたりして太陽の光をあびよう



- おやつを食べ過ぎに気を付けて、3度の食事をしっかりよく噛んで食べよう
- 寝る前には、目を使うことをやめて、決まった時間に布団に入ろう
- 起きる時間、食事の時間、寝る時間を守ろう

いち す かた き
＜1日の過ごし方を決めよう＞

いえ す がっこう じかん き なに
家で過ごしていると、学校のように時間を決めて何かをすることがなかなかできません。
やす とき からだ りすむ もと もと じかん
お休みの時の体のリズムは、元に戻すのに時間がかかることがあります。

そこで・前の日に「明日にやること」をいくつか決めよう

- 朝起きたら、午前、午後、夕方に何をするかを決めて、過ごそう
- 自分の好きなこと、やりたいことを時間を決めて楽しもう



たいせつ
＜ことばを大切に＞

イライラした気持ちが言葉となって誰かを傷つけたり、言い返されて自分が傷ついたり
することがあります。こんな時だからこそ、自分がうれしくなった、元気になった、心が
あたたかくなった言葉をたくさん使ってください。

いつでも相談してね。

こま き そうだん
＜困ったことや気になることは相談しよう＞

何か困っていることがある時は、学校に電話で相談しましょう。

また、学校以外にも電話で相談ができます。

- 「24時間子供SOSダイヤル」 0120-0-78310 (なやみいおう)



チーバくん

保護者の皆様へ

～臨時休校中における子どもの心のケア～

新年度を迎えたにもかかわらず子ども達は学校に登校できず、保護者の皆様も自宅での待機など、子どもも大人も、心と体の両面で様々な影響が出てきていることと思われます。保護者の方が子どものことで気持ちが沈んだり、イライラしたりする時は、相談するタイミングです。このような気持ちになることは意外と多くあります。ぜひ、学校や相談機関にお電話してください。一般的な子どものストレス反応は以下のものです。

①気分の面

抑うつ、イライラ、急に泣いたり怒ったりする、無気力、神経過敏、笑わなくなる

②思考・認知の面

注意力・集中力の低下、学習の能率低下、物事が決められない、悲観的、悪い夢を見る

③身体面

頭痛・腹痛・めまい・下痢・便秘、睡眠や食事のリズムが崩れる、不眠、食欲低下・増加

④行動面

そわそわして落ち着かない、夜尿や指しゃぶりが増える、甘えや我儘・反抗が強くなる

このような場面に出会ったときは、お子様の不安や強いストレスのあらわれかもしれません。「ストレスのサイン」ということを意識することで、対応の仕方が変わってきます。

そのような時は・・・

1. 安心して過ごせる環境作りを心がけましょう
2. 何でも話し合える雰囲気作りをしましょう
3. 適度な運動と手洗い、うがいなど健康管理に気を付けましょう
4. コロナウイルスに関する正しい情報に基づき行動し、情報の氾濫に注意しましょう
5. 子どもの心身の変化に気を付けましょう
6. 保護者の皆様の心身の変化にも十分にお気を付け下さい

家族と適度の距離を保ち、家族以外の友人や親せきとのつながりも大切にしましょう。お子様のことで、心配や不安なことがありましたら、学校まで御連絡ください。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーへの相談も御利用できます。

参考

- ・ニューヨーク日本人教育審議会教育文化交流センター 教育相談室（教育相談員 パーンズ静子 森真佐子）
- ・日本赤十字社 「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」

困った時に相談できる県内の機関

- ・千葉県子どもと親のサポートセンター(フリーダイヤル)
0120-415-446 (24時間)
- ・千葉県精神保健福祉センター 電話相談
043-263-3893
詳しい相談時間はホームページを御確認ください
- ・「24時間子供SOSダイヤル」
0120-0-78310 (なやみいおう)